



未来への一步

~Let's create the future together~

第076号

発行：兵庫県立播磨特別支援学校

はりゴン

〒679-4002 たつの市揖西町中垣内乙135番地1
TEL (0791) 66-0091 URL <http://www.hyogo-c.ed.jp/~harima-sn/>
FAX (0791) 66-0092 E-mail harima-sn@hyogo-c.ed.jp

第42回体育祭

9月30日(土)に、ご来賓や保護者と家族や卒業生等たくさんの方々にお越しいただき、第42回体育祭が盛大に開催されました。

天候に恵まれ、グラウンドを思い切り走る姿や、競技に集中して一生懸命に打ち込む姿が印象的で、流れ落ちる汗が輝いていました。また、各学年で手作りの応援グッズを用いて、工夫をこらして頑張る仲間へパワーを送ることもできました。

最後の競技が終わるまで、どの学年が優勝するかわからないくらい白熱した戦いでした。クラスや学年の絆が深まり、大変盛り上がった体育祭になりました。



見てみよう！播磨特別支援学校の取組み

9月20日(水)に、「第1回見てみよう！播磨特別支援学校の取組み」を実施しました。本校では年間3回、事業所の方をお招きして、普段の特別支援学校の様子や生徒の活動を直接ご覧いただき、障害のある人も共に活躍できる社会の形成に向けて、お力を貸していただけるよう、本取組みを行っています。製作実習やチャレンジ職業、パソコンの授業などを見学していただきました。授業の内容説明を生徒が担当したり、事業所の方からの質問に生徒が直接答えたりしました。実際に生徒の様子をご覧になられて「思っていたよりも色々なことができるんですね」「あいさつや受け答えがしっかりしていますね」など嬉しいお言葉をいただき、実習につながることも多いです。播磨特別支援学校では「分離礼」を重んじています。「分離礼」とは先にあいさつの言葉を述べてからその後でお辞儀をするという、とても気持ちのいいあいさつの作法です。

この行事を通して、本校の良さを多くの方に知っていただけたら幸いです。

発行日：R5.10.30

生活体験発表会

10月6日(金)6校時、体育館で生活体験発表会を行いました。全校生徒皆がこれまでの自身の学びや体験を作文にし、各学年3名ずつ計9名の生徒が代表として選出されました。

代表になった9名は、「卒業後の進路に向けて」「今までの出来事」「新しい生活」「通学中の出来事」「感動した出来事」「より良い人間関係を築くために」「友だちのこと」「お菓子を作るようになった私」「出会い」といったそれぞれの題で、全校生徒の前で発表しました。発表者は、ステージ上で自分の体験や考え、感じたことを表現したことでより自信につながりました。

この生活体験発表会を通して、仲間の学びや経験を共有するよい機会となりました。来年もぜひ開催したいと思います。



たつの市役所 表敬訪問~神戸新聞に掲載~

10月3日(火)に、10月28日(土)~30日(月)に開催予定の特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動がごしま大会」に出場予定の本校生徒5名が、たつの市役所に表敬訪問へ行き、選手激励会が行われました。特別全国大会へは、卓球3名、ボウリング1名、陸上競技1名がそれぞれ出場する予定です。たつの市長 山本 実様より、激励の言葉をいただき、その後選手5名がそれぞれ全国大会へ向けての意気込みを話しました。生徒は、緊張しながらも質問に対して落ち着いて受け答えをしました。

令和5年10月7日(土)の神戸新聞に記事が掲載されました。



「らくスポ」にスタッフとして参加



10月14日(土)に、たつの市役所新館周辺にて、たつの市版ユニバーサルらくスポーツイベント通称「らくスポ」が開催されました。本校からは3名の生徒が運営スタッフとして参加しました。今年度は、姫路獨協大学と西はりま総合リハビリテーションセンターの利用者の方と1ブース担当し、「福祉マークでイライラ神経衰弱」を担当しました。考案したオリジナルのレクリエーション体験を生徒たちが事前に行うことで、障害のある方についての理解や、さまざまな人との交流を深めることができました。

生徒は、「また来年も参加したい、とても勉強になりました。」と感想を述べていました。